

脚本家

水木 洋子

生誕100年フェスティバル

「ひめゆりの塔」「浮雲」「裸の大将」「純愛物語」「竜馬がゆく」など、映画やテレビドラマの脚本家として知られる水木洋子は、1947(昭和22)年から市川市八幡に住み、ここから数多くの名作を生み出しました。戦後は、日本映画の黄金時代を担った一人であると同時に、女性脚本家の草分けでもありました。2003(平成15)年4月、惜しまれつつ92歳の生涯を閉じ、自宅や貴重な自筆原稿など全て市に寄贈されました。今年、水木氏の生誕100年に当たります。その功績を記念して、「脚本家／水木洋子 生誕100年フェスティバル」を各会場で開催します。この機会にどうぞ水木洋子の世界をお楽しみください。



水木映画鑑賞会～ワンポイント鑑賞講座付

水木洋子作品のなかから、特に人気の映画を選びすぐって、見どころの解説付きで上映します。主催:(財)文化振興財団
場 グリーンスタジオ(メディアパーク市川2階)
入場料 200人(上映1時間前から整理券配布)

5月14日(金)	午前11時	「おかあさん」(1952年・成瀬巳喜男監督・新東宝・98分)
	午後2時	「あらくれ」(1957年・成瀬巳喜男監督・東宝・121分)
5月15日(土)	午前11時	「山の音」(1954年・成瀬巳喜男監督・東宝・94分)
	午後2時	「にっぽんのお婆あちゃん」(1962年・今井正監督・松竹・94分)
6月18日(金)	午前11時	「キクとイサム」(1959年・今井正監督・大東映画・117分)
	午後2時	「ここに泉あり」(1955年・今井正監督・中央映画・150分)
6月19日(土)	午前11時	「あれが港の灯だ」(1961年・今井正監督・東映・102分)
	午後2時	「ひめゆりの塔」(1953年・今井正監督・東映・127分)

公開 水木洋子邸公開

生誕100年を記念した特別イベントを水木邸でも開催します。

場 八幡5-17-3

水木洋子邸▶



公開日	3月27日(土)※、28日(日)	公開時間 午前10時～午後4時 (★は午前10時～午後0時30分) 入場無料
	4月8日(木)★、9日(金)★	
	4月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)	
	5月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日)	
	6月12日(土)、13日(日)、26日(土)、27日(日)	

※3/27(土)午後2時～「水木邸 春の芽吹き」水木邸の草木の解説イベントあり。

文学プラザ企画展 「水木洋子と日本映画の黄金時代」

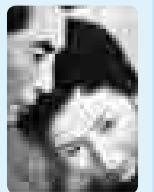
市に寄贈された貴重な遺品の展示を通して、水木洋子の生涯と映画作品の全容を紹介。あわせて、市川の文人と映画のかかわりや、市川の映画スポットなどを紹介します。

日 6月20日(日)まで 午前10時～午後5時 場 文学プラザ(メディアパーク市川3階)
●休館日:月曜日(3月22日、5月3日は開館)、3月23日(火)・31日(水)、4月30日(金)、5月6日(木)・28日(金)

映画「浮雲」上映と女優 岡田茉莉子さんのトーク

●映画「浮雲」1955(昭和30)年東宝
原作:林芙美子、脚本:水木洋子、監督:
成瀬巳喜男、出演:高峰秀子、森雅之、
岡田茉莉子ほか
日 4月17日(土)午後1時～4時30分
(開場は30分前)
場 市民会館ホール(八幡4-2-1)

入 抽選で900人
日 往復はがきに、参加人数(はがき1枚につき2人まで)、代表者の住所・氏名・電話番号・返信用あて先を書き、3月26日(金)まで(消印有効)に文学プラザ 水木洋子の世界係
(〒272-0015 鬼高1-1-4 メディアパーク市川3階)



▲浮雲

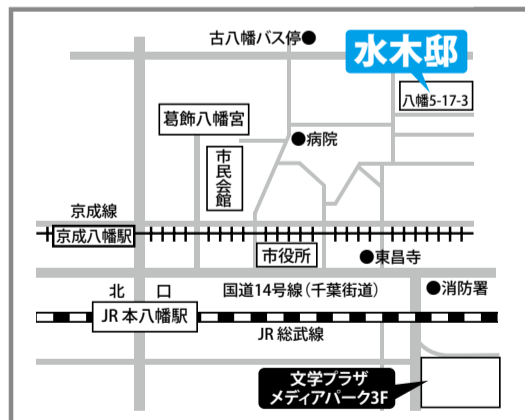
初夏の文学散歩
「映画のまちいちかわ」

昔の映画館跡やロケ地など、趣向を替えた街めぐり。「手児奈文学賞」の作品作りもアドバイス。いずれも午前10時～正午
入 20人(全3回参加できる方)
資料代100円

第1回 5月13日(木)
文学プラザ集合、講義

第2回 5月20日(木)
市川～真間周辺
(市川映画館跡、真間ロケ地めぐり ほか)

第3回 5月27日(木)
八幡周辺
(八幡映画館跡、水木邸、八幡ロケ地めぐりほか)



水木邸への地図

市川の映画情報をお寄せください。

市川にあった映画館に関する資料や、阪東妻三郎が菅野に住んでいたことなど、ご存知の方はぜひご連絡ください。

問 文学プラザ ☎320-3354
(月曜日休館)